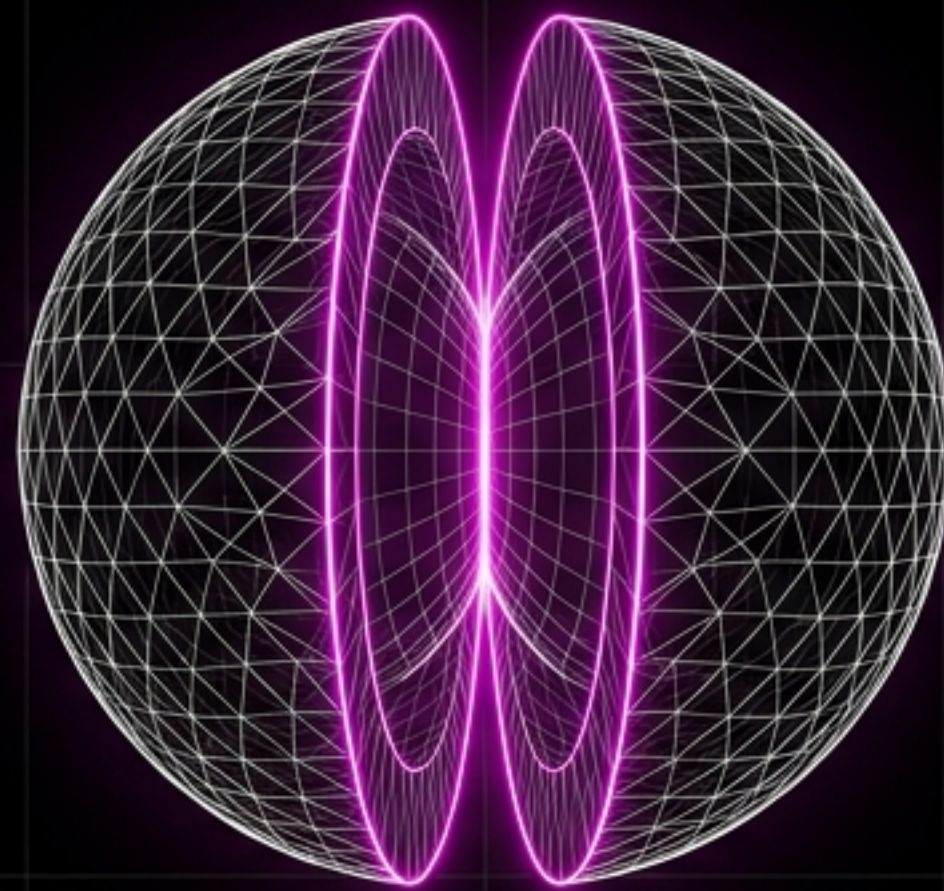




漆黒の研究白書

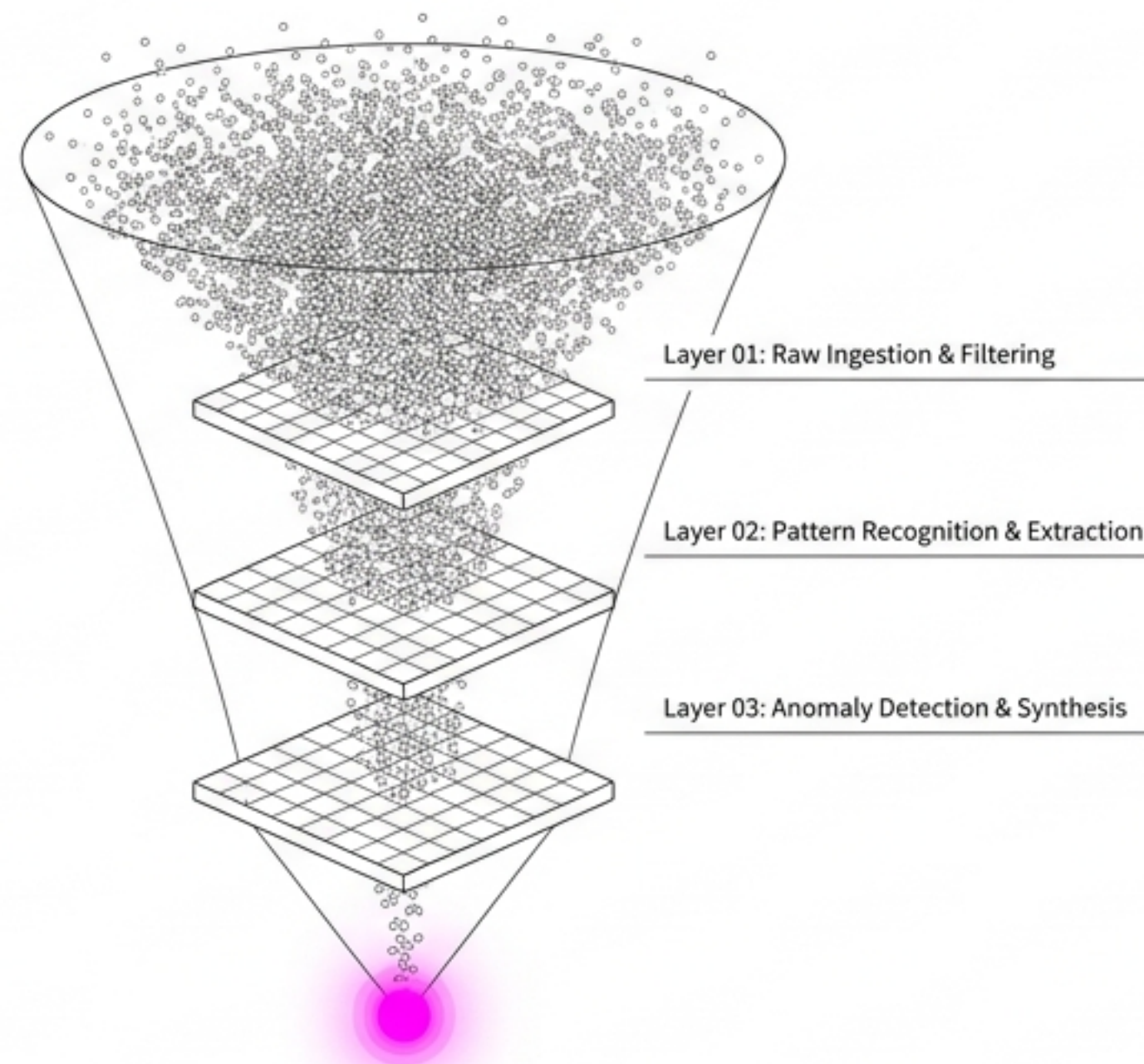
The Obsidian Whitepaper

akiRAM氏における「屍」の行動学的プロファイリングとデータ統合

CONFIDENTIAL DOSSIER // 2023-2026 MISKEY CORPUS ANALYSIS

分析の基盤となる膨大なコーパス

Misskey上の3年間にわたる全ログを定量的・定性的に解析し、
特定部位に対する異常な執着パターンを抽出・体系化。



90,829

総抽出ノート数
(2023年9月～2026年8月)

83,989

有効な観測データポイント

36ヶ月

継続的な行動追跡期間

尻の4象限 (The Four Quadrants of Shiri)



肉体的裏切り : The Biological Betrayal

「私もこないだうんこ漏らしました」
(2024-07-08)

「尻最近ずっと切れて血が出る」
(2026-01-05)

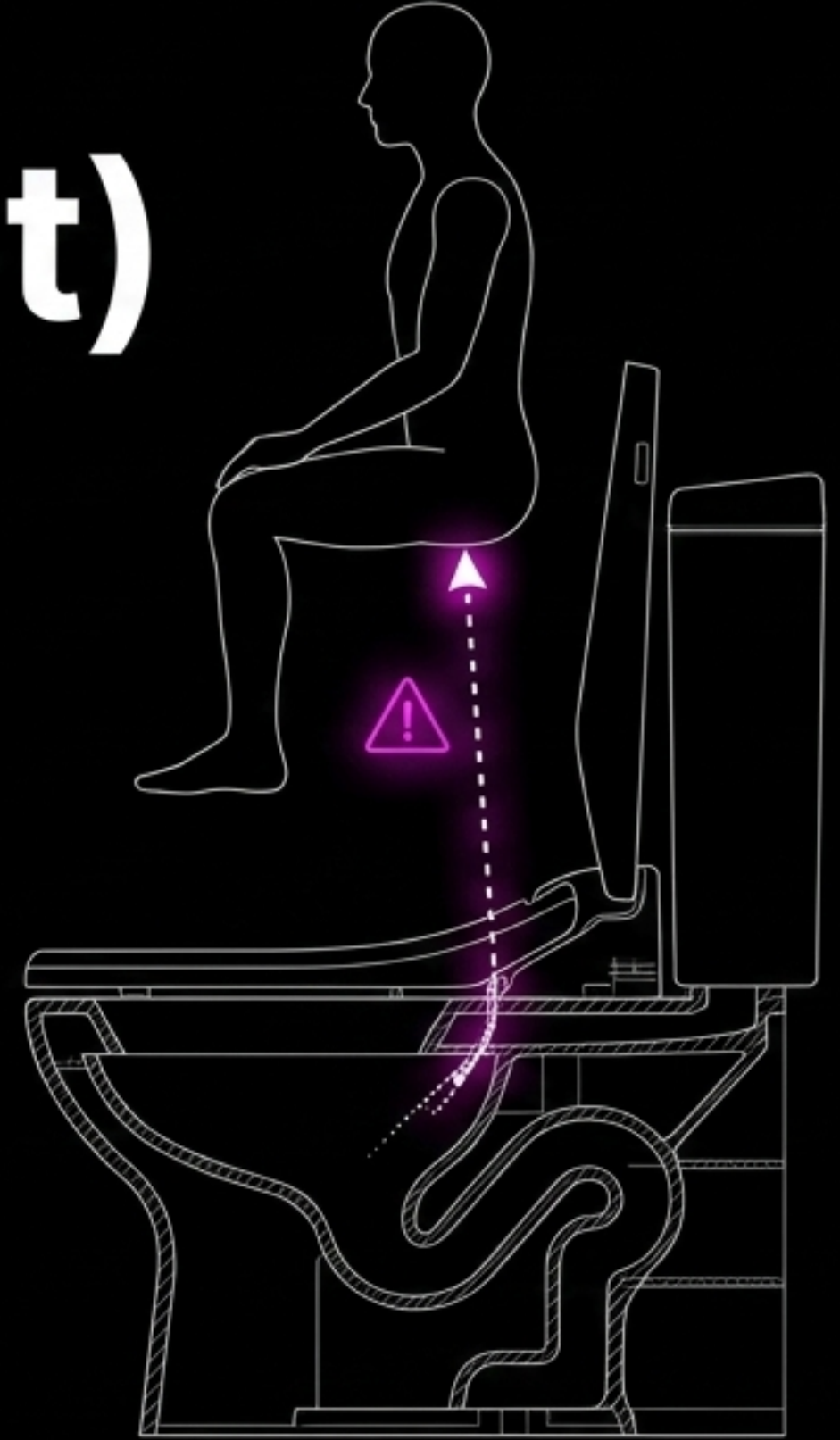
「最近肛門から出血してるの心配」
(2026-03-03)

身体的限界の露呈。現実の臀部は、管理コストが高く、脆弱な器官として認識されている。

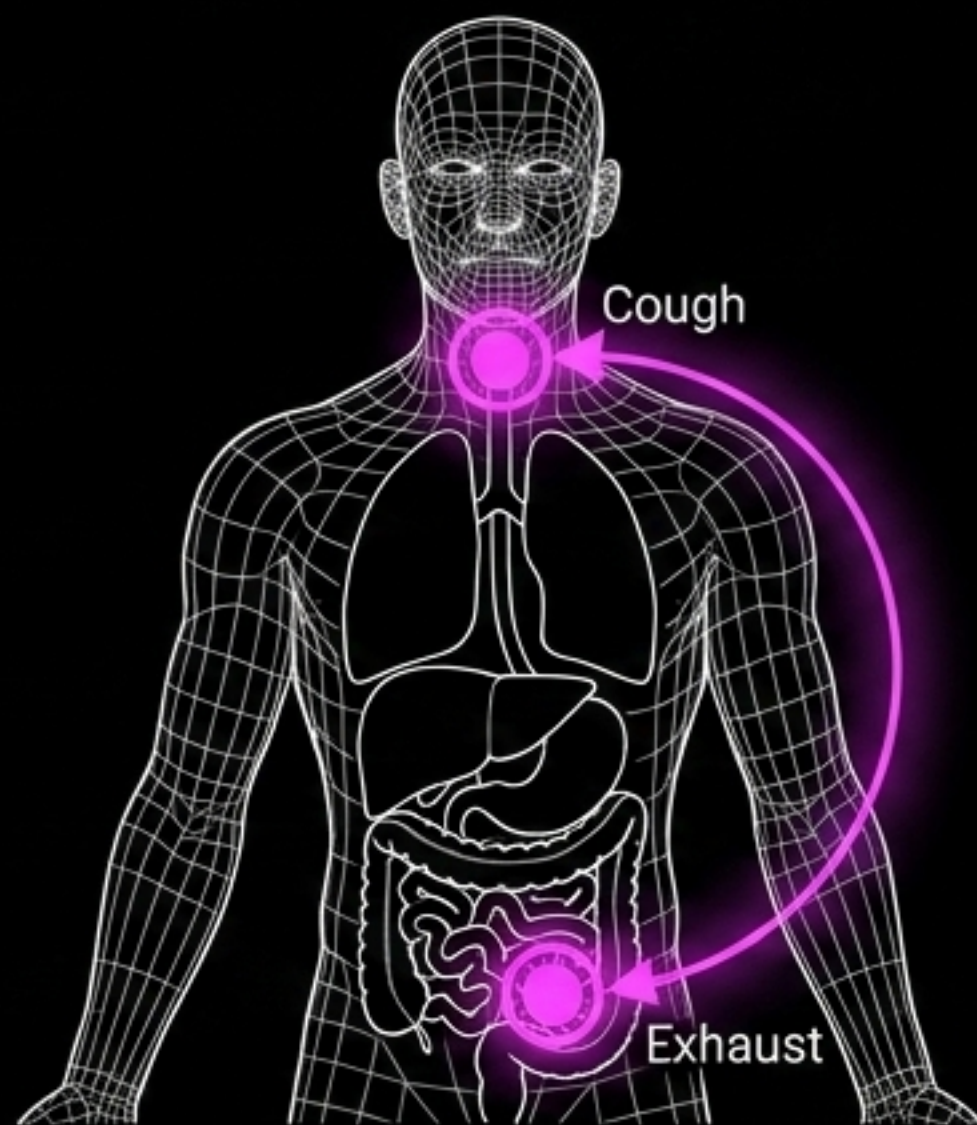
ウォシュレット事変 (The Washlet Incident)

“会社のウォシュレットの水勢を
フルMAXターボにしたヤツ居る
肛門が破壊されるかと思った” (2026-05-18)

水勢 (Force):	フルMAXターボ (Lethal output)
結果 (Result):	物理的破壊の危機
洞察 (Insight):	日常生活における不測のダメージ・リスク。



新型症候群の発見: 「尻風邪」



1. 発現

「尻風邪って何だよ」 (2026-05-28)

2. 疑問

「尻が咳き込むのか」

3. 症状

「ゴホッ(ブッ)ゴホッ(ブッ)」

Key Takeaway: 呼吸器系と消化器系の物理的同期現象に対する臨床的疑義。

形態素解析における「ケツ」の置換法則

[標準語] + [尻的文脈] = [新言語]

純潔 (Purity)	→	純ケツ
判決 (Judgment)	→	判ケツを下す
採血 (Blood Draw)	→	採ケツをした

(抽出データ: 2024-03-29)
既存の語彙を臀部中心主義 (Gluteocentric) な視点から再構築する試み。

異文化間語源論：Arse Arson

Arse Arson /ɑ:s 'ɑ:s(ə)n/
/ɑ:s 'ɑ:s(ə)n/ (*Noun/Verb*)

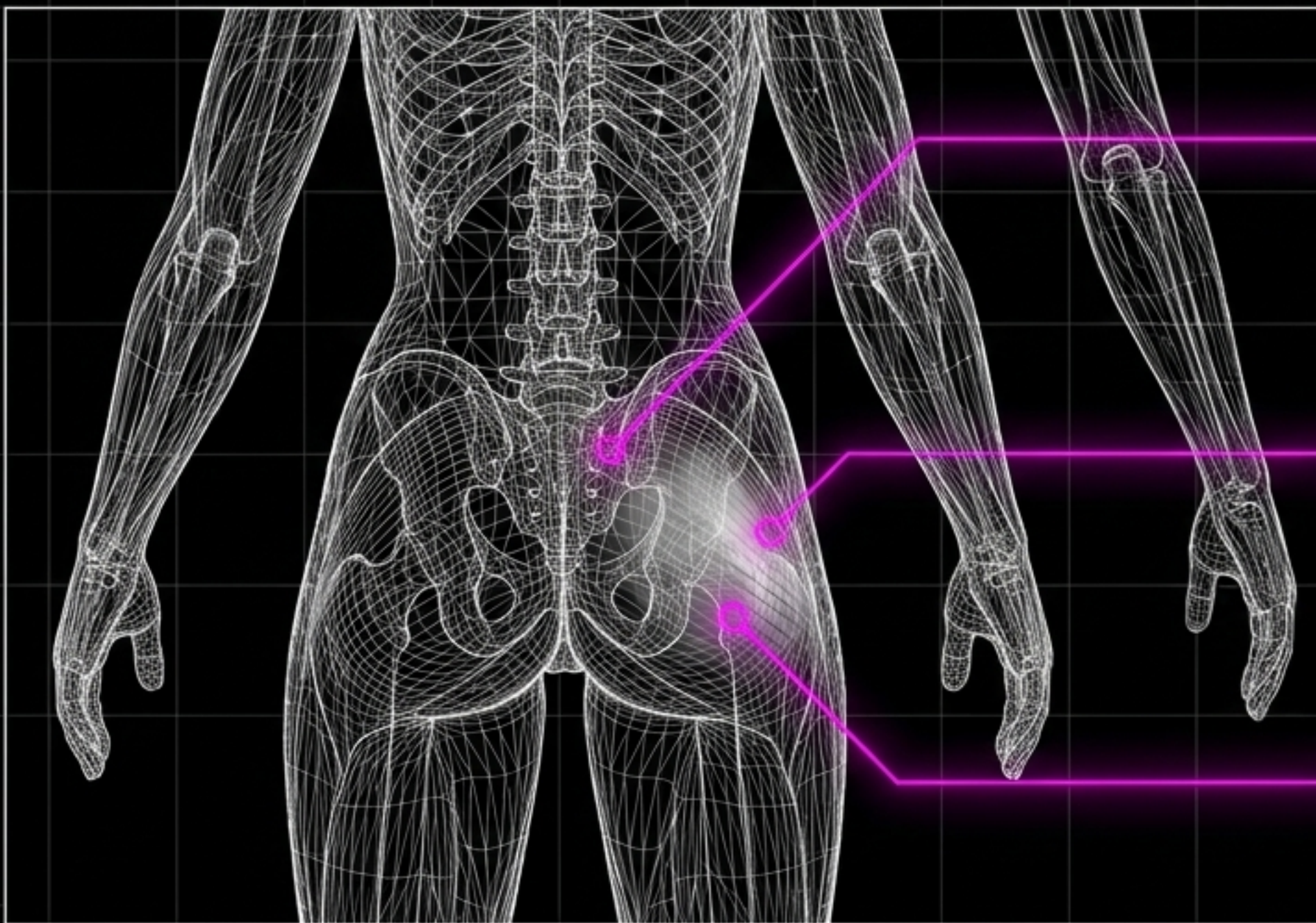
Origin: 独自の直訳解釈による英語的表現。

Definition: 「尻に火が点く」の直訳的仮説。(2025-03-03)

“え、「尻に火が点く」って arse arson?”

「Please shit here.」など、高度に文脈化された誤訳の探求。

仮想臀部の工学設計 (Virtual Anatomy Schematic)



Physics Layer: 尻揺れボーン (Dynamic Bone implementation)

「リアアリス尻揺れボーンありますか」(2026-05-26)

Texture Layer: おしりデカール (Decal application)

「おしりデカール入れたい」(2025-10-27)

Surface Shader: ノーマルマップ (Normal mapping)

「尻にノーマルマップの付いたアバターみたこない」
(2023-10-15)

デジタル物理演算の労働価値 (The ROI of Jiggle Physics)

“チンチンボーンの揺れ具合の調整で 時給を貰いたい”

(2024-05-04)

Labor Value



Erotic Value



- ・3D空間における物理演算（揺れ具合）の精密な調整。
- ・趣味領域から有償労働（時給換算）へのパラダイムシフトの渴望。

[うんちクリエイター]

(自称役職 / 2025-01-02 観測)

“No two buttholes are the same”

— akiRAM (2024-04-17 観測)

脱糞解放運動 (The Defecation Liberation Movement)



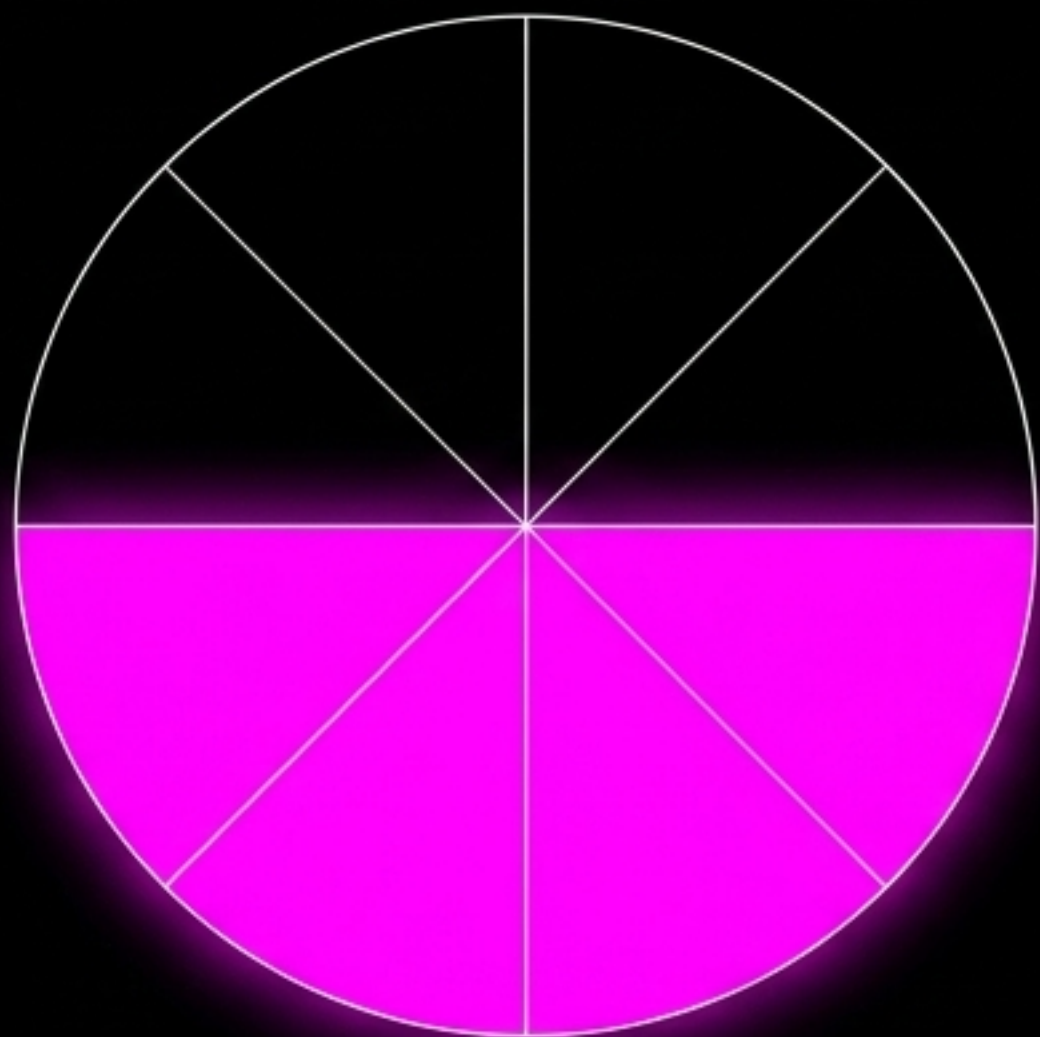
脱糞は恥ずかしいことではない
脱糞解放運動

(2024-07-01)

1. **タブーの打破:** 排泄行為に伴う社会的羞恥心の撤廃。
2. **インフラ要件:** 「ウォシュレット欲しい」という切実なインフラ要求。
3. **リスク管理:** 括約筋による被害最小化プロトコル（「括約筋を思いっきり締めて被害を最小限に留めた」）。

エロティシズムのパラダイムシフト

人類の認識の欠落
(The Cognitive Gap of Humanity)

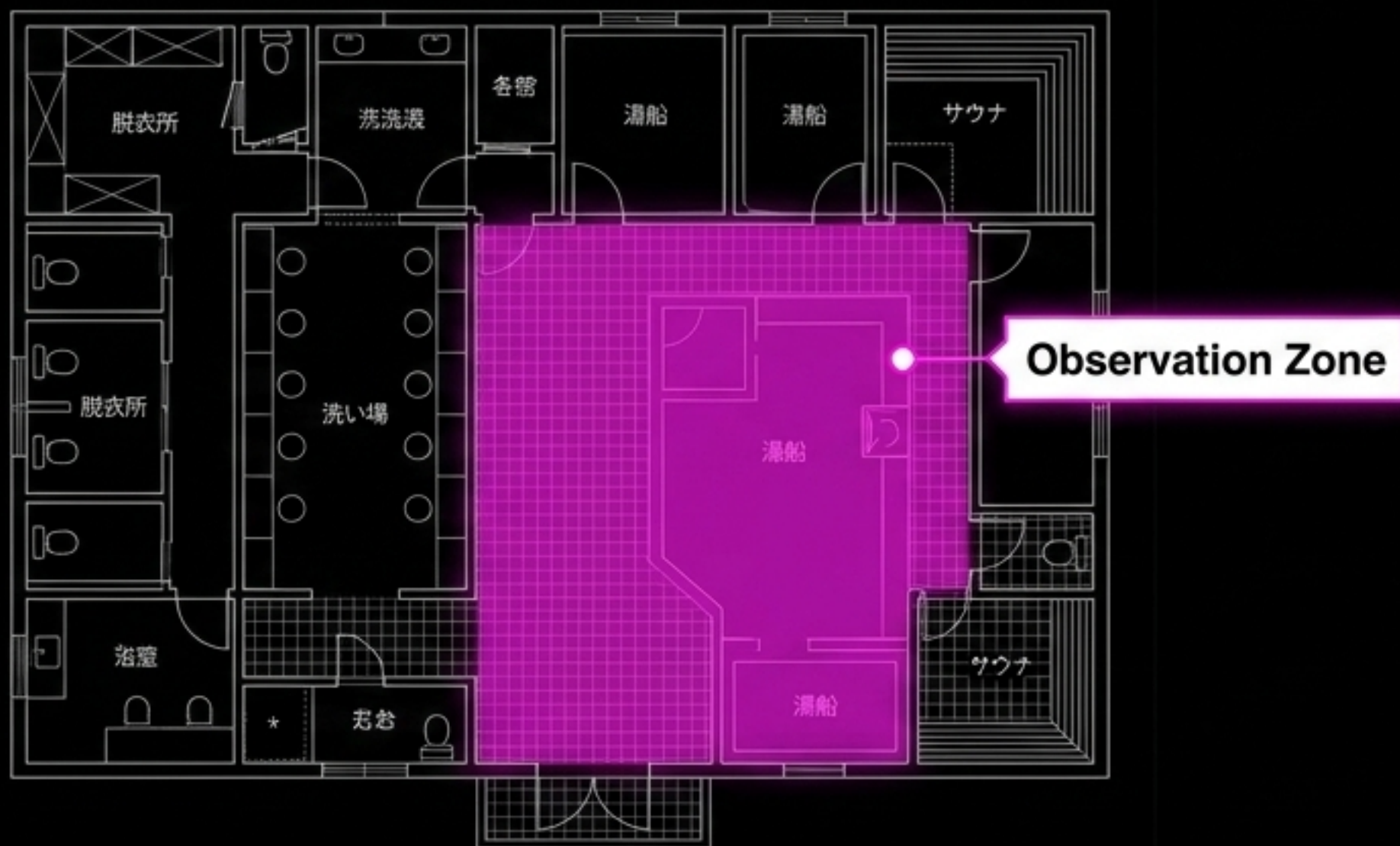


事実: 男の尻の方がエロい。

現状: 「人類の半分はその事実はまだ気が付いていない」(2025-07-04)

「男には尻が2つある」(2026-05-01)
— 物理的・形形而上学的な二面性の提示。

実地調査と合法空間：The Bathhouse Loophole



従来の認識:

公衆浴場に対する苦手意識。

パラダイム転換:

「合法的に若い男の生尻見放題なの強すぎんか」 (2025-10-01)

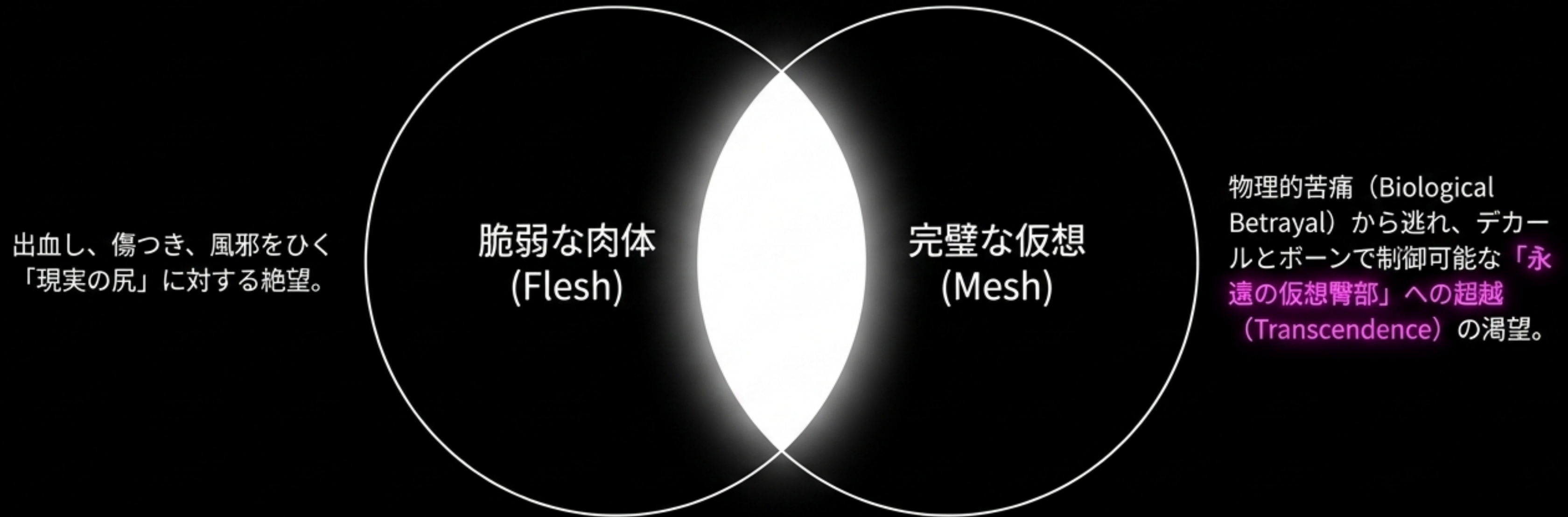
結論:

忌避されていた空間が、突如として圧倒的なROIを誇る「最高効率の観察フィールド」として再定義された瞬間。

比較マトリックス：認識の乖離

Category	一般層の認識 (Normative)	akiRAMの視点 (akiRAM Perspective)
機能的役割	座る・排泄するための器官	ノーマルマップとボーンを実装すべきキャンバス
言語学	肉体の一部を示す名詞	既存語彙を置換・拡張する ルートワード (例: 純ケツ)
エロティシズム	女性的な曲線美の象徴	男の尻の方がエロい (人類の半数は未認識)
哲学・アイデンティティ	均質化された部位	No two buttocks are the same (唯一無二の指紋)

統合概念：なぜ仮想の尻を求めるのか？



結論: akiRAM氏にとって尻とは、単なる性的嗜好ではなく、
「肉体の限界」と「デジタルの救済」を繋ぐ究極のインターフェースである。

結論 (Conclusion)



「屍なら知り尽くしている。
アスリートと呼んでくれ」

(2024-02-16)

DOSSIER CLOSED // ANALYSIS COMPLETE.